

フィンランドから日本向けに輸出される偶蹄類の動物の肉及び臓器並びにそれらを原料とするソーセージ、ハム及びベーコンの家畜衛生条件（仮訳）

平成4年8月13日 4動検甲第1084号

平成12年9月29日 12動検甲第1341号（豚コレラ追加条件）

フィンランドから日本向けに輸出される偶蹄類の動物の肉及び臓器並びにそれらを原料とするソーセージ、ハム及びベーコン（以下「日本向け輸出食肉等」という。）に適用される家畜衛生条件は、次によることとする。

（一般条件）

- 1 フィンランドにおいては、口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラの発生がなく、かつ、同国の法令によりこれらの悪性伝染病のワクチン接種が一切禁止されていること。
- 2 フィンランドにおいては、口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラのワクチン接種を受けた偶蹄類の動物の輸入が一切禁止されていること。

（指定施設の条件）

- 3 日本向け輸出食肉等を取り扱うためのと畜場、食肉加工施設及び保管施設等は、4から8の条件を充足できるものとしてフィンランド政府機関により指定された施設（以下「指定施設」という。）であること。

- 4 指定施設において取り扱うことができる偶蹄類の動物については、フィンランドにおいて出生し、かつ、フィンランドにおいてのみ飼養されていたもののみであること。

ただし、日本国農林水産省が口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラについて清浄であると認定している別紙1に掲げる国（以下「第3清浄国」という。）から直接フィンランドに輸入される偶蹄類の動物であって、①から④の条件をすべて充足するものについては、指定施設での取扱いができるものとする。

- ① 第3清浄国において出生し、かつ、第3清浄国においてのみ飼養されていたものであること。
- ② 第3清浄国政府機関による輸出検査において、家畜の伝染性疾病のいかなる徴候も認められなかったものであること。
- ③ ①及び②を記載した第3清浄国政府機関が発行する検査証明書を添付して当該第3清浄国以外の国を経由することなく直接フィンランドに輸入されたものであること。
- ④ フィンランド政府機関による輸入検査において、家畜の伝染性疾病のいかなる徴候も認められなかったものであること。

- 5 指定施設において取り扱うことができる偶蹄類の動物の肉及び臓器並びにそれらを原料とするソーセージ、ハム及びベーコン（以下「食肉等」という。）については、フィンランドにおいて出生し、かつ、フィンランドにおいてのみ飼養されたい偶蹄類の動物に由来するものであって、フィンランドの指定施設のみにおいて取り扱われたものであること。

ただし、第3清浄国から直接フィンランドに輸入される食肉等であって、①から⑤の条件をすべて充足するものについては、指定施設での取扱いができるものとする。

- ① 第3清浄国において出生し、かつ、第3清浄国においてのみ飼養されていた偶蹄類の動物に由来するものであること。
- ② 第3清浄国政府機関により日本向けに輸出される食肉等を取り扱うための施設として指定された指定施設において、第3清浄国政府獣医官によると殺前及びと殺後の検査において、いかなる異常

所見も認められなかった偶蹄類の動物に由来するものであること。

- ③ ①及び②を記載した第3 清浄国政府機関が発行する検査証明書を添付して当該第3 清浄国以外の国を経由することなく直接フィンランドに輸入されたものであること。
- ④ フィンランド政府機関による輸入検査において、家畜の伝染性疾病のいかなる徴候も認められなかったものであり、かつ、当該検査後、直接フィンランドの指定施設に搬入されたものであること。
- ⑤ 指定施設に搬入された食肉等は、ロットごとに区分けされ、生産地域、搬入年月日、数量が確認できるようにロットごとに常に表示されていること。

6 指定施設においては、取り扱われた偶蹄類の動物及び食肉等について、その種類、数量、生産地域及び取扱い年月日(第3 清浄国から輸入されたものを取り扱う場合にあっては、さらに輸入先国名を含む。)が記録原簿に記録され、当該記録原簿は、2年間以上保管されていること。

7 フィンランド政府機関は、指定施設の名称、所在地及び指定番号並びに生産能力(すなわち、1日当たりのと殺動物数、食肉及び食肉製品の生産量及び貯蔵能力)(第3 清浄国から輸入された偶蹄類の動物及び食肉等が取り扱われる場合にあっては、さらに輸入先国名を含む。)を事前に日本国農林水産省畜産局衛生課(以下「日本国家畜衛生当局」という。)に通知すること。

8 フィンランド政府獣医官は、指定施設に駐在又は定期的に巡回を行うことにより指定施設が4から7の条件を充足していることの確認を行うこと。指定施設が4から7の条件を充足していない場合にあっては、フィンランド政府機関は直ちに当該指定施設の指定を取り消すとともに当該指定施設名等を日本国家畜衛生当局に通知の上、当該指定施設からの日本向け輸出食肉等の輸出を停止させること。当該指定施設からの日本向け輸出食肉等の輸出の再開については、日本国家畜衛生当局と協議すること。

(日本向け輸出食肉等の条件)

9 日本向け輸出食肉等を生産するためにと殺された偶蹄類の動物(以下「と殺用畜」という。)は、フィンランドにおいて出生し、かつ、フィンランドにおいてのみ飼養されていたものであること。

ただし、第3 清浄国から直接フィンランドに輸入される偶蹄類の動物であって、4の①から④の条件をすべて充足するもの又は第3 清浄国から直接フィンランドに輸入される食肉等であって、5の①から⑤の条件をすべて充足するものについては、日本向け輸出食肉等を生産するために供することができるものとする。

10 と殺用畜は、指定施設において、フィンランド政府獣医官によると殺前及びと殺後の検査において、いかなる異常所見も認められなかったものであること。

11 日本向け輸出食肉等は、指定施設において家畜の伝染性疾病の病原体に汚染されるおそれのない方法で取扱われ、かつ、その包装及びカートンボックス等の容器は清潔で衛生的なものであること。

12 日本向け輸出食肉等は、日本への船積みまでの間、家畜の伝染性疾病の病原体に汚染されるおそれのない方法で取り扱われること。

(牛海綿状脳症に対する条件)

13 日本向け輸出食肉等のうち、牛肉、牛臓器及びそれらを原料とする肉加工品(以下「日本向け牛肉等」という。)の生産のため、日本国家畜衛生当局が第3 清浄国のうち牛海綿状脳症(以下「BSE」という。)の発生国と認めた別紙2に掲げる国(以下「BSE発生国」という。)から直接フィンランドに牛又は牛肉、牛臓器及びそれを原料とする肉加工品が輸入される場合には、BSE発生国政府機関が発行する検査証明書に、当該牛又は当該牛肉、牛臓器及び肉加工品を生産するためにと殺された牛が出生し、

かつ/又は飼養されていた施設においては、BSEの発生がなかったことが追加記載されていたものであること。

- 14 BSE発生国から直接フィンランドに輸入された牛又は牛肉、牛臓器及びそれらを原料とする肉加工品から生産された日本向け牛肉等については、輸出牛肉にあつては、すべて骨を除いたものであり、かつ、神経及びリンパ組織が取り除かれており、輸出牛臓器にあつては、脳、脊髄、胸腺、扁桃腺、脾臓及び腸以外のものであること。また、牛及び牛臓器を原料とする輸出肉加工品については、この項の条件を充足する牛肉及び牛臓器のみを原料として用いたものであること。

(日本国家畜防疫官による立入検査の実施)

- 15 日本国家畜防疫官は、指定施設の立入検査を実施し、記録原簿の提出を求めることができる。当該家畜防疫官は、当該家畜衛生条件に違反した事実を認めた場合は、日本向け輸出食肉等の輸出を停止することができる。

(その他)

- 16 日本向け輸出食肉等が第3国を経由して輸送される場合は、日本向け輸出食肉等は、密閉式コンテナに収容され、かつ、当該コンテナは、フィンランド政府機関により封印され、当該封印はフィンランド以外の地域の封印と明確に識別できるものであること。(なお、封印の様式については、事前に日本国家畜衛生当局の承認を受けたものであること。また、当該コンテナの日本国到着時の検査において、当該封印の脱落及び破損等がある場合には、動物検疫所は、当該日本向け輸出食肉等の積戻し又は焼却等の処分ができる。)

- 17 日本国家畜衛生当局は、フィンランドにおいて口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラの発生があった場合は、直ちに、日本向け輸出食肉等の輸出を禁止する。輸送途中の日本向け輸出食肉等については、当該疾病の発生との因果関係が明確に否定されるもの以外は、積戻し又は焼却等の処分ができる。

- 18 日本国家畜衛生当局は、第3清浄国から偶蹄類の動物及び食肉等を搬入しているフィンランド国内の指定施設について、第3清浄国において口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラの発生があった場合には、直ちに、当該指定施設からの日本向け輸出食肉等の輸出を禁止することができる。輸送途中の日本向け輸出食肉等については、当該疾病の発生との因果関係が明確に否定されるもの以外は、積み戻し又は焼却等の処分ができる。

- 19 18の日本向け輸出食肉等の輸出禁止の措置については、当該第3清浄国における当該疾病について日本国家畜衛生当局が清浄であると認めた場合又はフィンランド政府機関が当該第3清浄国からの偶蹄類の動物及び食肉等を当該指定施設へ搬入することを禁止し、その旨を日本国家畜衛生当局に通報した場合に解除することができる。

- 20 フィンランド政府機関は、同国内の家畜伝染病(口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラを含む。)の発生状況を月報等により定期的に日本国家畜衛生当局に通報すること。又、口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラの発生があった場合は、直ちに日本向け輸出食肉等の輸出を中止するとともに、発生状況等を日本国家畜衛生当局に通報すること。

- 21 フィンランド政府機関は、偶蹄類の動物及び食肉等の国別種類別輸入数量を日本国家畜衛生当局に月報等により通知すること。

(検査証明書の発行)

22 日本向け輸出食肉等の輸出に当たって、フィンランド政府機関は、次の各事項を具体的に記載した英文により検査証明書を発行すること。

- (1) 上記 1、2 及び 9～12 の各事項（日本向け輸出食肉等が第 3 清浄国から直接フィンランドに輸入された偶蹄類の動物及び / 又は食肉等から生産された場合には、当該第 3 清浄国名及び 9 のただし書きに規定する 4 の①から④の各事項及び / 又は 5 の①から⑤の各事項についても記載すること。）また、日本向け輸出食肉等が B S E 発生国から直接輸入された牛及び / 又は牛肉、牛臓器及びそれらを原料とした加工品から生産された場合には、13 及び 14 の各事項についても記載すること。
- (2) 指定施設の名称、所在地及び承認番号（処理・加工・保管等が同一指定施設で行われていない場合は、日本向け輸出食肉等を取扱ったすべての施設について記載すること。）
- (3) 検査証明書の発行年月日、発行場所及び発行者氏名
- (4) コンテナ等を封印した封印の番号（前記 16 の規定に基づき、我が国が承認した標識により輸送コンテナ等が封印されている場合。）

別紙 2

豚肉等の家畜衛生条件への豚コレラに関する追加条件（仮訳）

- 1 日本向けに輸出される豚肉及び臓器並びにそれらを原料とする肉加工品（以下、「日本向け豚肉等」という。）については、以下の追加条件が適用される。
 - (1) フィンランドにおいては、豚コレラの発生がないこと。
 - (2) フィンランドにおいては、豚コレラのワクチン接種が禁止されていること。
 - (3) フィンランドにおいては、豚コレラのワクチンが接種された豚の輸入が禁止されていること。
- 2 第 3 清浄国から輸入された豚又は豚の肉及び臓器並びにそれらを原料とする肉加工品（以下、「豚肉等」という。）が日本向け豚肉等の生産に使われる場合は、フィンランド政府機関は、第 3 国清浄国から輸入された豚又は豚肉等について(1)、(2)、(3)又は(4)を充足するものであることを証明すること。
 - (1) 第 3 清浄国（地域）においては、豚コレラの発生がないこと。

- (2) 第3清浄国（地域）においては、豚コレラのワクチン接種が禁止されていること。
- (3) 第3清浄国（地域）においては、豚コレラのワクチンが接種された豚の輸入が禁止されていること。

又は

- (4) 日本向け輸出豚肉等の生産に使われる豚肉は、生前生後の検査の結果、豚コレラの疑いがなく、かつ、豚コレラワクチンの接種がされていない豚由来のものであり、第3清浄国において加熱処理等豚コレラのウイルスを殺滅する方法で処理が行われていること。

地域とは清浄国のうち豚コレラの発生が未だある及び／若しくは豚コレラワクチン接種を継続している国の一部のワクチン不接種清浄地域をいう。第3清浄国内における地域の認定は、日本家畜衛生当局が現地調査の上、実施する。

- 3 フィンランドにおいて、豚コレラの発生があった場合、直ちに日本国家畜衛生当局に発生状況を通報すること。また、最終発生における必要な措置が完了し、終息後6ヶ月以上たった場合には、日本あて通知すること。

Animal health requirements for meat and viscera derived from cloven-hoofed animals and sausage, ham and bacon made from such meat and viscera as raw materials to be exported to Japan from Finland

Animal health requirements for meat and viscera derived from cloven-hoofed animals and sausage, ham and bacon made from such meat and viscera as raw materials to be exported to Japan from Finland (hereinafter referred to as “the exported meat, etc. to Japan”) are as follows.

(General requirements)

- 1 Finland has been free from Foot-and-mouth disease, Rinderpest and African swine fever, and vaccination against these diseases is completely prohibited by law of Finland.
- 2 Importation of cloven-hoofed animals which have been vaccinated against Foot-and-mouth disease, Rinderpest and / or African swine fever is completely prohibited in Finland.

(Requirements for designated facilities)

- 3 Slaughterhouse, meat-processing facilities and storage, etc. for dealing with the exported meat, etc. to Japan shall have been designated by the government authorities of Finland (hereinafter referred to as “the designated facilities”) as the ones which can meet the requirements in items from 4 to 8.
- 4 Cloven-hoofed animals which can be dealt with at the designated facilities shall have been born and raised only in Finland.

However, the cloven-hoofed animals, that are directly imported to Finland from the countries listed as per the attachment 1 which have been approved by the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan as the ones which have been free from Foot-and-mouth disease, Rinderpest and African swine fever (hereinafter referred to as “the third free countries”), and that completely meet the following requirements in items from ① to ④, can be dealt with at

the designated facilities.

- ① The said animals shall have been born and raised only in the third free countries.
- ② The said animals shall have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of export inspection conducted by the government authorities of the third free countries.
- ③ The said animals shall have been directly imported to Finland from the third free countries, and shall have been accompanied with the inspection certificate, stating items ① and ②, issued by the government authorities of the third free countries, and shall not have been transported through other countries than the third free countries in question.
- ④ The said animals shall have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the government authorities of Finland.

5 The meat and viscera derived from cloven-hoofed animals and sausage, ham and bacon, etc. made from such meat or viscera (hereinafter referred to as "the meat, etc.") which can be dealt with at the designated facilities, shall originate from the cloven-hoofed animals which have been born and raised only in Finland, and shall have been dealt with only at the designated facilities in Finland.

However, the meat, etc. that are directly imported to Finland from the third free countries and that completely meet the following requirements in items from ① to ⑤ can be dealt with at the designated facilities.

- ① The meat, etc. shall have been derived from the cloven-hoofed animals which have been born and raised only in the third free countries.
- ② The meat, etc. shall have been derived from the cloven-hoofed animals which have been free from any abnormal findings as a result of ante- and post-mortem inspection conducted by the government veterinarians of the third free countries at the designated facilities which have been designated by the government authorities of the third free countries as the one at which the meat, etc. to be exported to Japan can be dealt with.
- ③ The meat, etc. shall have been directly imported to Finland from the third free countries, and shall have been accompanied with the inspection certificate, stating items ① and ②, issued by the government authorities of the third free countries, and shall not have been transported through other countries than the third free countries in question.
- ④ The meat, etc. shall have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the government authorities of Finland, and shall have been directly carried into the designated facilities in Finland after the said inspection.
- ⑤ The meat, etc. which were carried into the designated facilities shall be divided into each lot and shall be marked by lot at all times so as to confirm the production area, the entrance date and the quantity.

6 The species, quantities, production areas and date of dealing with as to cloven-hoofed animals and the meat, etc. which have been dealt with at the designated facilities (in case of dealing with the ones imported from the third free countries, the name of exporting countries is also required.) shall be recorded on the original records. The original records shall be kept at least two years at the designated facilities.

7 The government authorities of Finland shall inform the Animal Health Division, Bureau of Livestock Industries, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan (hereinafter

referred to as “ the Japanese animal health authorities ”), in advance, of the name, address, registration number and production capacity (e.g. the total number of slaughtered animals and the total amount of processed meat and meat products per day, and capacity of storage) of the designated facilities (in case of dealing with cloven-hoofed animals and the meat, etc. imported from the third free countries, the name of exporting countries is also required.).

- 8 The government veterinarians of Finland shall confirm by residence or periodic patrols that the designated facilities meet the requirements in items from 4 to 7. If the designated facilities do not meet the requirements in items from 4 to 7, the government authorities Finland shall immediately revoke the designation of the said facilities and shall inform the Japanese animal health authorities of the name, etc. of the said facilities, and shall suspend the shipment of the exported meat, etc. to Japan. The government authorities of Finland shall discuss re-exportation of the exported meat, etc. to Japan with the Japanese animal health authorities.

(Requirements for the exported meat, etc. to Japan)

- 9 The cloven-hoofed animals which have been slaughtered for the production of the exported meat, etc. to Japan (hereinafter referred to as “ the slaughtered animals ”) shall have been born and raised only in Finland.

However, either the cloven-hoofed animals that the directly imported to Finland from the third free countries and that completely meet the requirements in items from 4-① to 4-④, or the meat, etc. that are directly imported to Finland from the third free countries and that completely meet the requirements in items from 5-① to 5-⑤, can be used for the production of the exported meat, etc. to Japan.

- 10 The slaughtered animals shall have been free from any abnormal findings as a result of ante- and post-mortem inspections conducted by the government veterinarians of Finland at the designated facilities.

- 11 The exported meat, etc. to Japan shall have been dealt with at the designated facilities in such a way as to keep it from being contaminated with any causative agents of animal infectious diseases. Clean and sanitary wrappings and/or containers such as card board boxes shall be used to pack the exported meat, etc. to Japan.

- 12 The exported meat, etc. to Japan shall have been dealt with in such a way as to keep in from being contaminated with any causative agents of animal infectious diseases until the shipment of the exported meat, etc. to Japan.

(Requirements for Bovine Spongiform Encephalopathy)

- 13 In case cattle, beef, bovine viscera and meat products made from the beef and the bovine viscera are directly imported to Finland from the countries listed as per the attachment 2 which have been designated by the Japanese animal health authorities as the ones which have outbreak of Bovine Spongiform Encephalopathy (BSE) (hereinafter referred to as “ BSE outbreak country ”), for the production of beef, bovine viscera and meat products made from the beef and the bovine viscera among the exported meat, etc. to Japan (hereinafter referred to as “ the exported beef, etc. to Japan ”), additional certification, that is, there shall be no evidence BSE on the premises where the said cattle and/or the cattle which were slaughtered for the production

of the said meat, viscera and meat products were born and/or raised, shall be certified on the inspection certificate which is issued by the government authorities of BSE outbreak country.

- 14 Concerning the conditions for the exported beef, etc. to Japan made from cattle, beef, bovine viscera and meat products made from the beef and bovine viscera, directly imported to Finland from BSE outbreak country, the beef shall be applied to the conditions that it is completely deboned and obvious nervous and lymphatic tissue is removed, and the bovine viscera shall be applied to the conditions that brain, spinal cord, spleen, thymus, tonsils and intestines are excluded, and the meat products shall be applied to the conditions that they are made only from the beef and the bovine viscera which meet the conditions of this item.

(On-site inspections conducted by animal quarantine officer of Japan)

- 15 Animal quarantine officer of Japan can be empowered to make on-site inspections of the designated facilities and to make investigation of the original records. When the said animal quarantine officer finds the fact that the said animal health requirements have not been met, the said animal quarantine officer can suspend the shipment of the exported meat, etc. to Japan.

(Others)

- 16 In case the exported meat, etc. to Japan transports through third countries, the exported meat, etc. to Japan shall be put in tight container. The container shall be sealed by the government authorities of Finland with the seal which is apparently distinguishable from that of other countries. (The form of the seal shall have been approved in advance by the Japanese animal health authorities. In case the said seal has been broken or dropped out, etc. as a result of inspection when the said container arrives at Japan, the exported meat, etc. to Japan in question could be re-shipped or incinerated, etc. by Animal Quarantine Station in Japan.).

- 17 In case Foot-and-mouth disease, Rinderpest or African swine fever has occurred in Finland, the animal health authorities of Japan shall immediately suspend the shipment of the exported meat, etc. to Japan. The exported meat, etc. to Japan which is on the way to Japan could be re-shipped or incinerated, etc. by the animal health authorities of Japan, except the one which bears definitely no relation to the occurrence of the said diseases.

- 18 Concerning the designated facilities in Finland into which cloven-hoofed animals and the meat, etc. imported from the third free countries are carried, in case Foot-and-mouth disease, Rinderpest or African swine fever has occurred in the third free countries, the animal health authorities of Japan could immediately suspend the shipment of the exported meat, etc. to Japan from the said facilities. The exported meat, etc. to Japan which is on the way to Japan could be re-shipped or incinerated, etc. by the animal health authorities of Japan, except the one which bears definitely no relation to the occurrence of the said diseases.

- 19 The suspension measures of the shipment of the exported meat, etc. to Japan in item 18 could be released either in case the animal health authorities of Japan have recognized that the third free countries in question are free from the said diseases, or in case the government authorities of Finland have suspended the carriage of cloven-hoofed animals and the meat, etc. imported from the third free countries in question in the said facilities and have informed the animal health authorities of Japan of the said suspension.

20 The government authorities of Finland shall be responsible for informing the animal health authorities of Japan of incidences of animal infectious diseases (including Foot-and-mouth disease, Rinderpest and African swine fever) by monthly report or by other periodicals. In case Foot-and-mouth disease, Rinderpest or African swine fever has occurred in Finland, the government authorities of Finland shall immediately suspend the shipment of the exported meat, etc. to Japan shall inform in detail the Japanese animal health authorities of the incidence immediately.

21 The government authorities of Finland shall be responsible for informing the Japanese animal health authorities of import quantities of cloven-hoofed animals and the meat, etc. by country as well as by species, by monthly report or by other periodicals.

(Issue of inspection certificate)

22 The government authorities of Finland shall be responsible for issuing inspection certificate for the exported meat, etc. to Japan, stating the following items in detail in English;

(1) Each requirement of items 1, 2 and from 9 to 14. (In case the exported meat, etc. to Japan has been produced from the cloven-hoofed animals and/or the meat, etc. derived from cloven-hoofed animals, directly imported, to Finland from the third free countries, the name of the third free countries and the requirements in items from 4-① to 4-④ and/or from 5-① to 5-② stipulated in proviso in item 9 are also required.)

In case the exported meat, etc. to Japan have been made from cattle, beef, bovine viscera and meat products made from the beef and the bovine viscera, directly imported from BSE outbreak country, the requirements in item 13 to 14 are also required.

(2) Name, address and registration number of the designated facilities (in case slaughtering, processing and storing, etc. have not been done at the same designated facilities, each of the facilities at which the exported meat, etc. to Japan have been dealt with shall be described on the certificate.).

(3) Date, authorities name and place of issue of the inspection certificate, and name and title of signer.

(4) Identification number of the seal sealing up the container, etc. (in case the transporting container, etc. is sealed up by the seal approved by the Japanese animal health authorities according to item 16).

Attachment

Appendix 2

Denmark

Requirements for the pig meat etc.

1 The pig meat, viscera and such meat products as sausage, ham and bacon to be exported to Japan from Finland (hereinafter referred to as “ the exported pig meat etc. ”), shall be subject to the following additional requirements with regard to Classical Swine Fever (hereinafter referred to as “ CSF ”):

- (1) Finland is free from CSF.
- (2) In Finland, vaccination against CSF is prohibited.
- (3) In Finland, importation of pigs vaccinated against CSF is prohibited.

(Requirements for pigs or pig meat etc. from the third free country)

2 If pigs or pig meat, viscera and such meat products as sausage, ham and bacon (hereinafter referred to as “ pig meat etc. ”) from a third free country is used for the production of the exported pig meat etc. shall be accompanied by a certificate of the authorities of Finland attesting item (1), (2) and (3) or (4) regard to CSF.

- (1) A third free country (zone) is free from CSF.
- (2) In a third free country (zone), vaccination against CSF is prohibited.
- (3) In a third free country (zone), importation of pigs vaccinated against CSF is prohibited.

OR

- (4) The pig meat etc. used for the production of the exported pig meat etc. was derived from pigs subjected to ante-and post-mortem without any evidence of CSF and not vaccinated against CSF and was processed in a way to ensure the destruction of CSF virus in the third free countries.

Zone is CSF free zone without vaccination against CSF established in a free country (as per attached ANNEX 2) where the CSF infection is still present and/or vaccination against CSF still remains.

The zone in a third free country is recognized by Japanese animal health authorities based on the on-site investigation.

(Requirements in case of an outbreak of CSF)

3 In case of an outbreak of CSF in Finland, the government authorities of Finland immediately have to inform the Japanese animal health authorities of the outbreak, and 6 months or more after the completion of necessary measures for the last case notify the completion to the Japanese animal health authority

E U諸国等から日本向けに輸出される牛肉等の家畜衛生条件の停止について

平成12年12月22日 12動検甲第1747号

B S E 侵入防止に万全を期すため、牛肉等（牛肉、牛臓器、加熱処理肉、加熱処理臓器、牛肉及び牛臓器を原料とした加工品、牛精液、牛受精卵、牛未受精卵）の輸入停止措置を講じることとして、平成13年1月1日から当分の間、別紙の各家畜衛生条件の全部又は一部の効力を停止する。

E U諸国等から日本向けに輸出されるめん羊肉、山羊肉等の家畜衛生条件の停止について

平成13年3月29日 12動検第2145号

B S E 侵入防止に万全を期すため、平成13年4月1日より、別紙の家畜衛生条件の一部の効力を停止するとともにE U諸国等からめん羊及び山羊並びにそれら動物由来の肉等（肉、臓器、加熱処理肉、加熱処理臓器、肉及び臓器を原料とした加工品、精液、受精卵、未受精卵）の輸入を停止する。